

## アクセリードグループ 動物実験に関する方針

2025年1月1日施行

これまで動物実験が人類の生存と健康の維持に果たしてきた役割や成果、またこれからの生命科学の発展の必要性を考えると、それは各学問領域とりわけ医学・医療、薬学などの健康科学分野の進展のために必要ではあるがやむを得ない手段であると同時に、動物の生命又は身体の犠牲を強いる手段です。当グループの係る医薬品開発分野においても薬の有効性や安全性を予測するために動物実験が不可欠であることから、我々は、実験動物の生理、生態、習性等を十分に理解のうえ、生命あるものとして尊重し、科学的かつ倫理的基盤となる 3R の原則(※)を常に念頭において適正に実施します。

動物実験の適正な実施にあたっては、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」やその他の関連法令、ガイドラインを遵守します。また我々が動物実験で利用する施設は、国際的な第三者認証機関の AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）の認証施設であること(※※)を原則とします。認証手続きに求められる自主的な点検/評価プログラムを通じて、サイエンス研究における実験動物の人道的なケアを推進しています。

(※)3R の原則: 3R の原則とは動物実験の基本理念で、「Replacement (代替法の活用)」「Reduction (供試動物数の削減)」「Refinement (苦痛の軽減)」を意味します。

(※※)事業所内の 2 施設のうちの 1 つは、AAALAC International による定期的な検証を受け、これまで完全認証を継続維持しております。もう 1 つは、一般財団法人日本医薬情報センター動物実験実施施設認証センターによる認証を取得しておりますが、現在 AAALAC International 認証取得に向け準備中です。

以上

執行役員 創薬支援事業管掌  
岡田 健吾

